

すわみつえ通信

No.167 2021年3月29日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かしいのちとくらしを守る市政に

3月定例会は2月24日に開会し、3月22日に閉会しました。
一般会計歳入歳出390億3500万円の前年度比較で6億円減額の予算規模となります。
市長は施政方針で「5期目の任期で『行政は最大のサービス業である』という基本精神で着実に成果を積み上げてきた」と語りました。ところが、喫緊の課題であるとして取り組んだ「総合病院誘致」「こみ処理施設建設」は未だ見通しを示せません。

新年度予算決定す

【一般会計】
390億3,500万円

【特別会計】
(国保・介護など)
227億9,000万円

【水道下水道会計】
87億8,397万円

【総額】
706億897万円

3月議会定例会閉会となる



特別養護老人ホーム建設計画の取り下げについて一般質問を行う、すわみつえ市議=3月18日

日本共産党は、議会初日に上程された53件と最終日の追加議案6件の内、49件に賛成し、10件に反対しました。

新型コロナウイルス感染拡大の中
市民のいのちと暮らしを
最優先にすべき

大型開発には大盤振舞い

- ①市役所前の埼玉縣信用金庫の土地と建物を4200万円で購入し整備委託に852万円を投入していた「賑わい創出交流拠点」として新たな税金投入がはじまります。
- ②「道の駅」整備に関わる協定を国と締結したことから、用地買収と整備設計が3億3638万円。
- ③「コウノトリ飼育施設」管理運営委託に4913万円。

いのち暮らし最優先に

くらしも生業も大変

- ①「生活困窮者自立支援事業」2020年度は約1000件の問い合わせがあったとのこと。例年の倍増です。また、「緊急小口資金」「総合支援資金」などコロナ禍で要件が緩和されたこともあり、利用している方が例年の100倍以上とのこと。

- ②「就学援助金」利用は、小学生で8.3%、中学生で10.6%になっています。
- ③介護保険料は、1720人が滞納しています。

笠原小学校跡地利用検討
予算903万円

子どもたちの成長がまぶしく感じられる卒業・入学の季節です。コロナの1年間で子どもたちの学校生活はまだまだ不安やストレスが続いています。楽しく過ごせる学校環境を整えるのは政治の役割だと思います。昨年12月議会で笠原小学校の閉校が決まりました。ところが議会決定するずっと以前からすでに「跡地利用」の検討は始まっていたのです。10月に「笠原小学校跡地利用基本方針」を決定し、11月に「笠原小学校跡地検討委員会」を設立し、すでに3回開催していました。
新年度は民間企業に委託し、民間のアイデアを取り入れていくということです。地域の方の意見が最大限生かされるよう今後も注視していく必要があります。

俳句コーナー

つねもと やかた
経基が館跡にも咲く桜

瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

権力監視でスクープ連打

しんぶん赤旗 3月26日付

「赤旗」スクープについて
論じた他紙の記事

文部科学省の利害関係者である学校法人「豊栄学園」（宮崎県三股町）が、前文部科学副大臣と文科事務次官をくり返し接待した疑いがある―しんぶん赤旗3月22日付1面スクープを受け、萩生田光一文科相は事実関係の確認を指示しました。各メディアは「共産党機関紙『しんぶん赤旗』」と情報源を明記し、後追いで報じました。

落語家の立川談四楼さんは「今は『しんぶん赤旗』か『文春砲』かだよ。その赤旗がまたもスクープだ」とツイート。

作家の平野啓一郎さんは、志位和夫委員長が22日付1面を紹介したツイートを引用し「どこもかしこも、腐りきってるな。政権交代以外ない」とつぶやきました。

文芸評論家の斎藤美奈子さんは3月24日付「東京」コラムで、「赤旗」のスクープ連打を他紙がどう見ているかを分析。「『赤旗』がヒットを飛ばし続けるのは政権与党を監視するという目的が明快だから」と指摘し、しんぶん赤旗22日付のスクープに言及しました。

東京工業大学の中島岳志教授は23日付「東京」夕刊の論壇時は

メディアも言論人も「しんぶん赤旗」に注目！



評で「近年、『週刊文春』と『赤旗』が、重要なスクープを出している」と書き出し、週刊文春の山谷編集局長と「赤旗」日曜版の山本豊彦編集長が対談した『月刊日本』2月号を紹介しました。

『週刊朝日』3月12日号は「菅政権を倒すカギは共産党」と題した特集で、山本編集長のインタビューも織り交ぜ、「赤旗」や党議員の調査能力の高さを評価。「『赤旗砲』と呼べるような『うしたスクープ』報道は、これまでも多くの成果を上げてきた」とのべ、官房機密費問題やJCJ大賞授賞の「桜を見る会」報道を例にあげました。

予防接種の記録を 感染研が「手帳」作成【新型コロナ・ミニ知識】

いつどんなワクチンの接種を受けたか、記憶ではなく記録を一。国立感染症研究所が「成人用予防接種記録手帳」を作成し、ホームページに印刷用データを掲載した。新型コロナウイルスワクチンを打った際に受け取る接種済み証を貼り付ける欄もある。A5版での印刷を想定しており、表紙を含め計8ページ。ワクチン名やメーカー、接種年月日、医療機関名などを自分で記入し、別のページに接種済み証などを貼り付ける。

予防接種歴は、海外旅行や就職などの機会に確認を求められることがある。幼少期のワクチンは主に母子健康手帳の記録を参照し、以降は接種時に渡された紙を個人が保管する例が多いとみられるが徹底されておらず、必要な場面で慌てる人も少なくないようだ。手帳を作成した多屋馨子（たや・けいこ）・感染症疫学センター室長は「接種記録を各自が管理する習慣を付けてほしい」と話している。（共同通信社 3月23日付）



ヤギ牧場 ベビーラッシュ 南国市 2～4月350匹

高知県南国市大桶乙の川添ヤギ牧場が、ベビーラッシュの時季を迎えている。県内唯一のヤギ専門牧場で、個人経営では全



国トップクラスの飼育数。「メエ～」と愛らしい鳴き声が、昼夜を問わず響いている。

12年前、2匹から飼育を始め、同市内などで約650匹を飼育。将来的には2千匹前後に増やす計画だ。

毎年、秋に種付け、150日前後の妊娠期間を経て、早ければ2月からが出産期。数匹から多い日で20匹前後が生まれるそう。飼育舎では、プランターを活用したオリジナルの授乳器から、赤ちゃんヤギが一斉に「ごくごく」「ちゅーちゅー」。愛らしい顔を並べて、ミルクタイムを楽しんでいた。

牧場では、三つ子や四つ子も珍しくないそうで、今季は350匹ほどが生まれる予定で、にぎやかな春が4月下旬まで続くという。（高知新聞 3月25日付）